

第 2 回	<p>テーマ：在宅看護の対象（3 章・4 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象の多様性/家族支援 ・在宅療養の成立要件
第 3 回	<p>テーマ：在宅ケアを支える法・制度（5 章・7 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険/医療保険/障害者福祉制度/社会資源 ・訪問看護ステーションの開設基準
第 4 回	<p>テーマ：療養の場の移行に伴う看護（3 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続医療/継続看護/入退院支援
第 5 回	<p>テーマ：在宅看護におけるケアマネジメント（6 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険におけるケアマネジャーの役割 ・ケースマネジメント/ケアマネジメント
第 6 回	<p>テーマ：在宅看護における看護技術の特徴（4 章・技術 5 章）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続医療に伴うケア
第 7 回	<p>テーマ：在宅看護における看護技術の特徴（4 章・技術 6 章）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅ケアにおけるリスクと安全管理 ・家庭内で起きる事故とその予防
第 8 回	<p>テーマ：在宅看護における療養指導（4 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護での患者指導
第 9 回	<p>テーマ：在宅看護における危機管理（8 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防 ・災害に備える危機管理
第 10 回	<p>テーマ：在宅療養での意思決定支援（3 章・4 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生会議（アドバンス・ケア・プランニング） ・看護倫理
第 11 回	<p>テーマ：慢性疾患療養者を支える在宅ケア（4 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慢性疾患管理 ・生活不活発病予防
第 12 回	<p>テーマ：認知症高齢者を支える在宅ケア（4 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアパス ・認知症を支える在宅看護
第 13 回	<p>テーマ：医療的ケア児の在宅ケア（4 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児の現状 ・小児の在宅療養支援
第 14 回	<p>テーマ：在宅での終末期ケアと看取り（4 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅ホスピスの利点・欠点 ・在宅緩和ケアで提供される看護
第 15 回	<p>在宅看護の展望（9 章）（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅看護の動向と今後の発展 ・まとめ
テキスト	地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア（メディカ出版）

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術（メディカ出版） ・1年次の地域生活支援論、2年次の地域連携協働支援論、家族看護学のテキストと講義資料 ・その他、適宜、授業内で紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	授業内の提出物は、後の講義の中で講評し、返却します。
学生へのメッセージ・コメント	<p>在宅看護学の対象は全ライフステージの療養者であることから、在宅看護を考えるには、基礎看護学、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学の知識が必要です。特に、社会保障概説、地域生活支援論、地域連携協働支援論、家族看護学で学んだことを使って考えることが多くあります。既習科目の教科書や講義資料などを用いて、必要な知識を振り返りながら学びを進めましょう。</p> <p>※授業の進行によっては、講義の順番を入れかえることがあります。</p>

